

「わくわく算数教室」5日目 ～シニアSP(卒業生)、再会！～

8月27日(火)、「わくわく算数教室」5日目です。昨夜から雨がたくさん降っていたので開催できるか心配していましたが、なんとか無事開催することができました。雨の影響で一部電車の遅れもあったようです。そんな中、「おはようございます！」と元気に控室に入ってきてくれるSPさんの背中はとても頼もしく感じました。雨で少し落ち込んだ気分も、SPさんが温かく迎えてくれます。そのおかげで子どもたちは“いつも通り”勉強することができました。ウィークリーSPとして活動しているSPさんは知っていると思いますが、天気によっても子どもたちの様子は大きく変わります。でも、わく算では“いつも通り”の光景が広がっていました。それだけ子どもたちが楽しみにわく算に来ています。SPさんたちのパワーが伝わっています。



今日は、シニアSP(卒業生)が4人来てくれました。久しぶりの再会を喜び、お互いに近況報告もしていました。このわく算が、現場に出てからも「出発地」として拠り所になっています。あるシニアSPは「青春そのものでした」と話していました。それだけ濃い体験ができる場所、同志との思い出の地になっています。そして、今日来てくれたシニアSPが「SP通信」を書いてくれました。先輩の生の声が一番の励みになります。勉強になります。裏面に掲載しますので、ぜひ読んでみてください。



シニアSP自身、久しぶりに片葩小の子どもたちに会えてうれしそう！シニアSPと子どもたちの関わりを見ることも、勉強になります。

この通信を書してくれたのは、教員1年目のシニアSPです。片葩小でウィークリーSPとわく算を経験してきました。

Try & Error



今日は、片葩小学校のわくわく算数教室の様子を見てきました。5 か月ぶりの片葩っ子との再会をとっても楽しみにしていました。現場に出ても、このわくわく算数教室やウィークリーSPでの活動の経験が役に立つな、という場面が多々あります。

今日の子どもたちの様子を見てみると、どの子も楽しそうに活動をしていました。学習を進めていく中で、子どもたちが「学力」をつけていくことも教師として大切にしていきたいことですが、大前提として子どもたちの中で、「楽しい」「ちょっとやってみようかな」と思わせるための手立てが大切だなと感じました。わくわく算数教室でどの子も楽しそうに活動を行っているのはSPのみなさんが、子どもたち一人一人に寄り添い、それぞれの実態に合わせた指導を行うことができているからではないでしょうか。90 分の活動の中で、算数以外の雑談もありますが、こうした雑談も児童理解をする上で大切な時間になっているように感じます。自分の話を真剣に聞いてくれる、お兄さん先生、お姉さん先生を嫌いになるわけがありません。

学校現場でも1クラスの中で30人前後の児童を前に授業することになりますが、「1対30」の指導ではなく、「1対1の指導を30通り」行い、一人一人の課題に応じた指導を行っていくことが大切だと感じています。なかなか難しいことですが、わくわく算数教室やウィークリーSPでの活動はこうした事を試す良い機会であると感じています。

今日参加していた鉄川先生、茂木先生に普段の指導で大切にしていることを書いてもらいました。

鉄川先生（教員1年目）

授業や学校生活の中では児童の反応を大切にしています。学校生活の中心は児童であるため、児童の気持ちに寄り添うことが重要だと思います。わく算に参加して子どもの素直な反応に触れ合ってください。

茂木先生（教員3年目）

わく算では、児童は真剣に楽しく算数に取り組んでいます。そんなこと授業ではありえません。SPが見守ってくれるから、児童も安心して取り組みます。現場は忙しいけど、この経験を思い出してください。

★教員9年目のシニアSPも通信を書いて、わく算のグループLINEへ共有してくれました。より現場のこと、子どもたちのことを具体的に書いてくれています。興味のある方は、緒方へご連絡ください。共有します。

